

競技上の諸注意

1 競技規則

本大会は、令和3年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則により行う。

2 競技時間

(1) 男女関東クラブ・社会人選手権ともに、6/26日(土)の試合はすべて25分ー(10分)ー25分で行う。同点の場合は第1延長まで行い、その後は7mT C(5人)とする。

6/27日(日)のクラブ選手権決勝戦「g」「G」の試合は、25分ー(10分)ー25分で行う。同点の場合は第1延長まで行い、その後は7mT C(5人)とする。社会人選手権女子「ク」および決勝戦「キ」「き」は、30分ー(10分)ー30分とし、同点の場合は第2延長まで行い、その後は7mT C(5人)とする。

(2) 全会場とも加算式の電光掲示板を使用する。

(3) 競技終了の合図はブザーまたは笛で行う。

(4) 退場者については、退場者電光掲示板で番号と退場時間を表示する。記録席から入場の指示はしない。

(5) 電光掲示板に表記するチーム名・得点は1試合通して左右の変更はしない。

(6) 試合は開始時刻通り行う。

3 大会使用球

(公財)日本ハンドボール協会の検定球を使用する。

男子はモルテン(H3X5001-BW)、女子はミカサ(HB2000)を使用する。

4 競技会場

(1) 館内は必ず体育館シューズを使用し、外履きとの区別をはっきりすること。

(2) 両面テープのみ使用可。(黒色両面テープ使用不可)松やに・松やにスプレー等の使用は禁止する。また、松やにの付いた練習球も使用不可とする。

(3) アップについては、富岡市民体育館・富岡特別支援学校は屋外で行う。(富岡市民体育館のランニングコースをアップで使用不可とする)富岡高校では第2体育館が使用できる。ハーフタイムでの試合コートでのアップは可能。

5 トス・ユニフォームの確認等

(1) 第1試合のトスは試合開始の30分前に行う。第2試合以降は前試合のハーフタイムに行う。

(2) ユニフォームは濃・淡2色を用意する。

(3) ユニフォームの確認はトスの時に行う。ユニフォームはすべて持参すること。

(4) 役員・選手は、トス時に（公財）日本ハンドボール協会登録証を提出し、試合前に審判員から本人の確認を受ける。なお、登録証には写真を必ず添付すること。

6 参加資格等

(1) ベンチは役員4名、選手16名までとする。役員登録されていないトレーナーについては、指定場所で待機すること。ベンチ・コート内には入れない。

(2) ベンチに入る役員には、オフィシャルよりIDカードを配布する。また、監督は「A」のIDカードをつけること。

7 裁定委員会及びTD

(1) 本大会に裁定委員会を置き、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長・その他大会役員関係者をもって委員会を構成する。必要があれば関係者（当該チームの選手を含む）を同席させる場合もある。

(2) 裁定委員会は、本大会において発生したすべての問題について審議し、その対応を決定する機関である。

(3) 本大会は全ての試合に、MO1名及びTD2名を置く。

8 諸注意

(1) 競技中、交代地域でのボール使用は一切禁止する。ボールはケース等に収納しなければならない。

(2) コールドスプレー等は、けが等で使用する以外はバッグ等に収納しておくこと。

(3) ビデオ撮影は、各チーム1名のみ認める。撮影者は本部に体調チェックシート（個人用）を提出し、撮影許可を受ける。体育館の電源の使用を禁止する。

(4) 体育館の使用に際しては、各都県代表選手としての自覚と誇りを持ち、マナー違反のないよう行動すること。

(5) 車は定められた駐車場に駐車し、路上駐車などは絶対にしないこと。

(6) 各チームで健康管理につとめ、大会期間中も感染予防対策を徹底すること。別紙「感染予防対策について」を厳守すること。

9 その他

(1) 開閉会式・代表者会議には、式典にふさわしい服装で参加すること。

(2) 通過認定証について

- ・代表決定戦の勝利チームに通過認定証を授与する。

- ・認定証の授与は試合終了後、コートオフィシャル席前で行う。

- ・当該チームはオフィシャル席前に横一列で並び、通過認定証を受領する。